

元離宮二条城東側空間整備基本計画

～ 概 略 版 ～



京都市
CITY OF KYOTO

平成27年3月

1 二条城の歴史



- 慶長 8 年（1603 年）徳川家康により築城され、三代将軍家光により伏見城の遺構を移すなどして寛永 3 年（1626 年）に完成。
- 慶応 3 年（1867 年）十五代将軍慶喜が大政奉還を表明し、その後二条城は国のものとなり、明治 17 年（1884 年）に離宮となる。
- 昭和 14 年（1939 年）に京都市に下賜され、二条城の外堀を囲む道路も含めて、二条城全域が史跡に指定される。翌年から一般公開を開始する。
- 昭和 27 年（1952 年）建造物のうち 6 棟が国宝、22 棟が重要文化財に指定。
- 昭和 28 年（1953 年）二之丸庭園が特別名勝に指定。
- 昭和 49 年（1974 年）広域避難場所に指定。
- 昭和 57 年（1982 年）二之丸御殿障壁画 1,016 面が重要文化財に指定。
- 平成 6 年（1994 年）ユネスコ世界文化遺産「古都京都の文化財」に登録。

2 二条城東側空間の現状と課題



二条城東側空間（以下「東側空間」という。）とは、二条城の入口である東大手門、東側の外堀と堀川通の間で、現在は主に二条城駐車場として使用しているスペースのことをいう。

（1）現状

- 二条城のエントランスとして、国内をはじめ世界各国から訪れる年間約 150 万人の観光客を迎える場所である。
- 東側空間には、南北に歩道が通り、来城者のほか、一般の歩行者、自転車、市民ランナーなど多くの人々が利用している。

敷地面積：約 275,000 平方メートル

入城時間：午前 8 時 45 分から午後 4 時まで（閉城午後 5 時）

入城料：大人 600 円・中高生 350 円・小学生 200 円

休城日：12 月 26 日から 1 月 4 日まで

7 月、8 月、12 月及び 1 月の毎週火曜日（休日の場合は翌日）

（2）課題

- ① 駐車中のバスや改札・出札・鉄柵等の工作物が、二条城のシンボルである東南隅櫓や東大手門の景観を阻害している。
- ② 観光客、一般通行者（一般歩行者、自転車、ランナー等）や、普通車及びバス駐車場、タクシー乗降場等の利用車両の動線が錯綜している。

- ③ 歩道が狭く通行しにくい。そのため、駐車場内を縦断する自転車が多い。
- ④ 堀川通北行市バス停留所の幅員が狭く、多くの利用者や通行者にとって危険である。
- ⑤ 堀川通北行市バス停留所及び東大手門を繋ぐ動線が分かりづらく、駐車場内、堀川通車道を通行する観光客も見受けられる。
- ⑥ 来城者の集合場所やベンチなど憩えるスペースがない。
- ⑦ 災害時の対応設備等がない。

3 整備の目的



- （1）二条城の正面玄関である東側空間の景観を改善する。
- （2）来城者や市民の皆様へ世界遺産・二条城の魅力を伝え、保存・継承への関心を高める。
- （3）来城者、車両及び一般通行者の通行の安全性、円滑性を確保する。
- （4）世界各国から訪れる年間約 150 万人の観光客の利便性を高める。
- （5）災害時の対応力を強化する。

4 整備コンセプト



- （1）威厳のある景観づくり
二条城の外堀外周には、築城当初から広大な空間が設けられ、東大手門前は後水尾天皇の行幸をお迎えした空間である。そのため、東大手門や東南隅櫓などの歴史的景観を阻害する要因を取り除き、世界遺産に相応しい威厳ある景観を整備する。
- （2）来城者や市民が文化財（史跡等）に親しめる空間づくり
二条城の文化財全般（史蹟等）に親しむことができる環境を目指し、インフォメーション機能の整備、緑や木陰を配置した快適な空間の提供を図るとともに、「歩くまち・京都」の施策とも連動した公共交通機関利用の促進と、観光バス対策にも配慮した二条城来城者のための駐車場整備を行う。
- （3）安心・安全な環境づくり
国内をはじめ世界各国から訪れる来城者のみならず、日常通行する歩行者、ランナー、自転車と車両の動線を整理するとともに、ユニバーサルデザインにも配慮した安心・安全な通行環境を提供する。また、二条城は広域避難場所でもあることから、災害時に資する機能も合わせて整備する。



動線凡例

記号	内容
	乗用車動線
	大型バス動線
	タクシー動線



・観光客、一般通行者、自転車、ランナーなどにより混雑し、通行しにくい



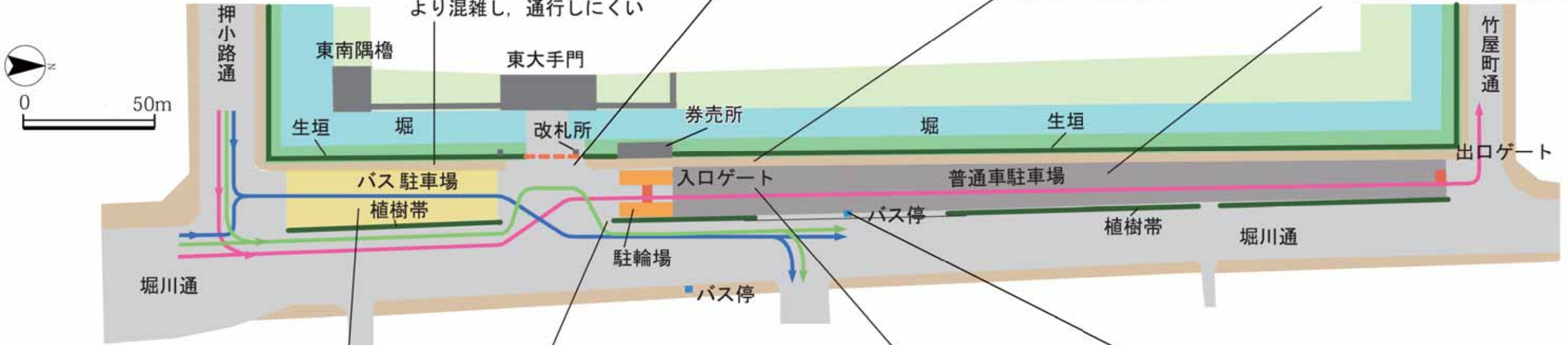
・客だまりが無く通行が困難



・歩行帯の幅が狭いため、駐車場にはみ出る来城者



・殺風景なアスファルト舗装
・駐車場内を走行する自転車がある



・堀川通側からの二条城の景観を阻害する大型バス



・バス停と二条城を結ぶ道筋がわかりにくい



・普通車駐車場を横断する歩道

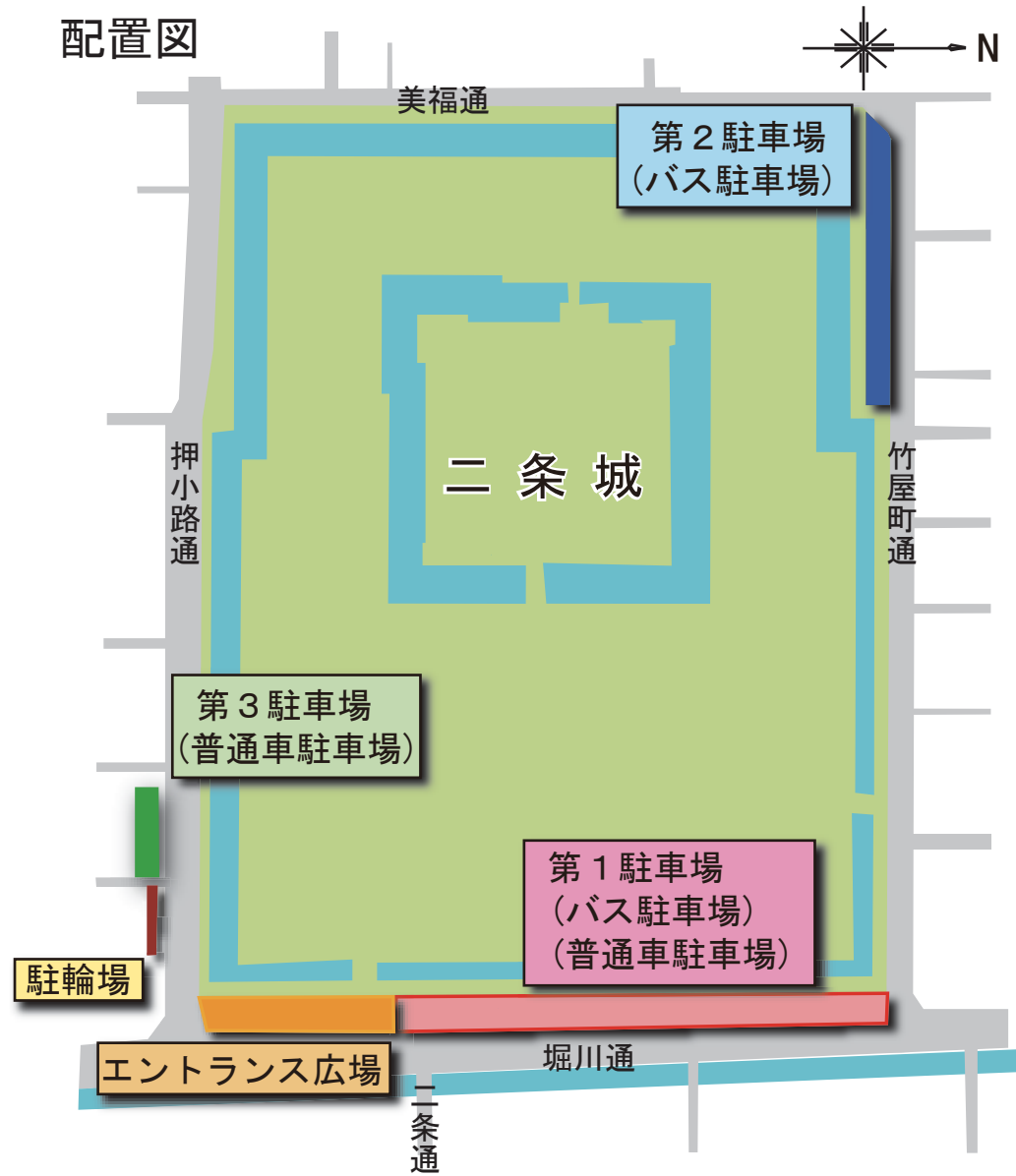


・幅員が狭いバス停

5 整備計画図



配置図



現在の東大手門前の様子



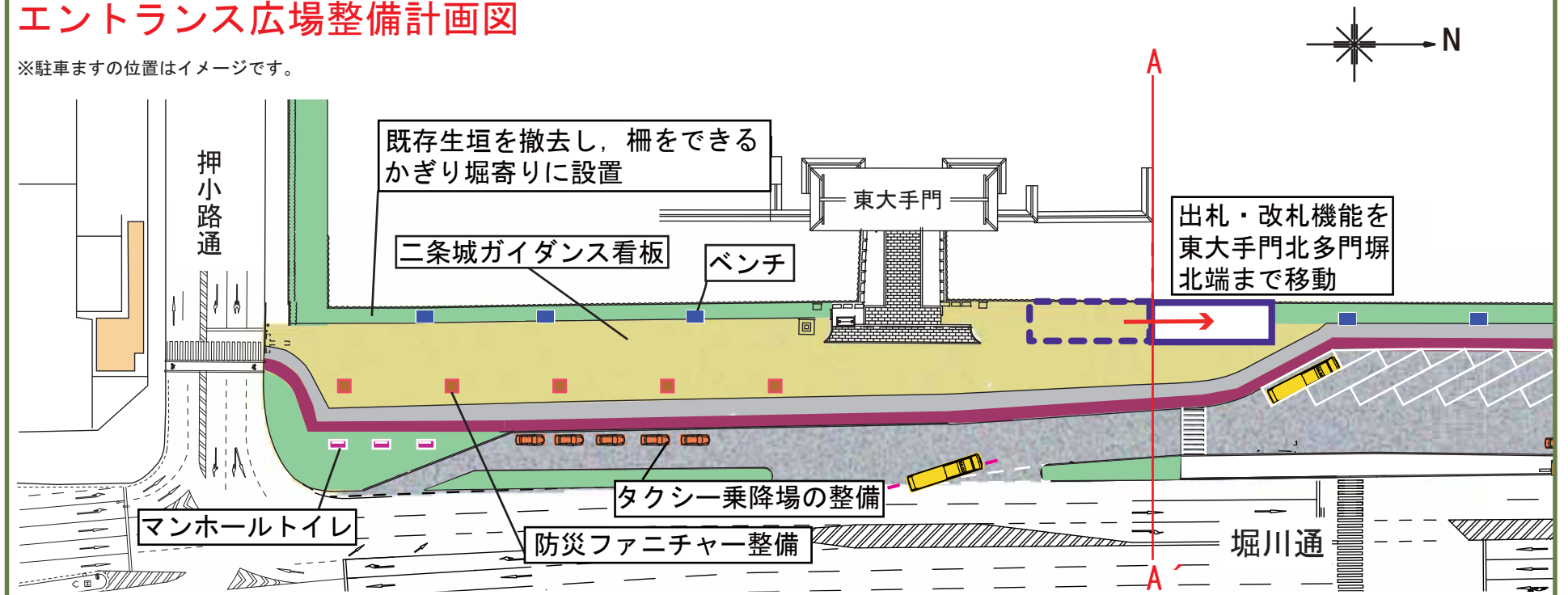
整備後の東大手門前イメージ



鉄柵や改札所などを景観に配慮し整理

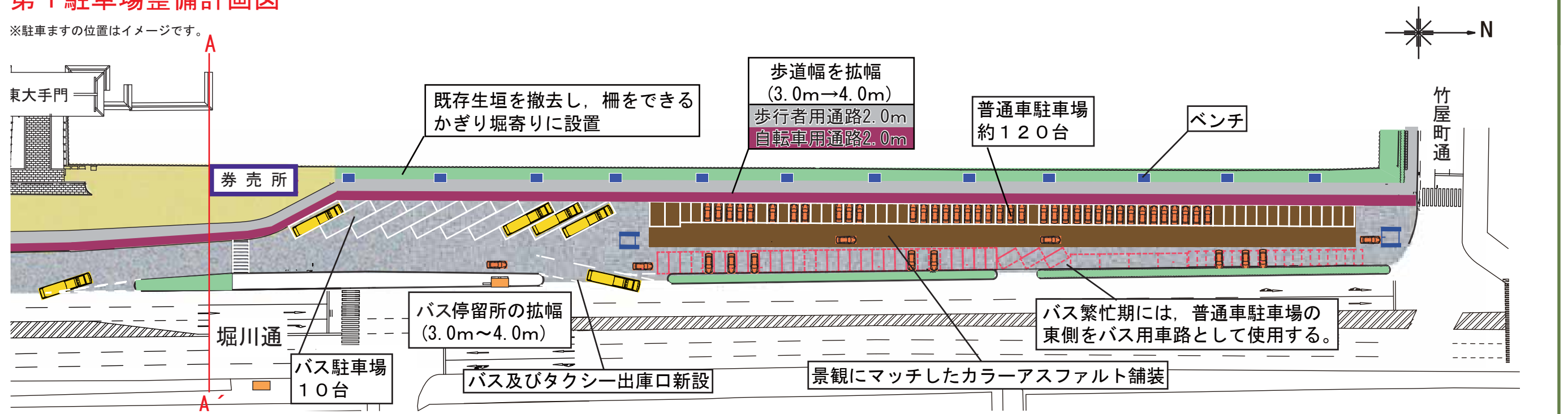
エントランス広場整備計画図

※駐車ますの位置はイメージです。



第1駐車場整備計画図

※駐車ますの位置はイメージです。



6 駐車台数及び面積



	現在の台数	現在の面積	整備後の台数	整備後の面積
普通車駐車場	216台	3900㎡	第1駐車場 約120台	2790㎡
			※バス繁忙期 約60台	—
			第3駐車場 約20台	690㎡
			計 約140台	3480㎡
バス駐車場	30台	1380㎡	第1駐車場 10台	1340㎡
			第2駐車場 20台	2540㎡
			計 30台	3880㎡
駐輪場 (自転車、バイク)	100台	180㎡	約100台	260㎡

7 今後の予定



整備時期	内容
平成26年度	基本計画策定
平成27年度	基本設計
	実施設計
	第1期工事 第2・第3駐車場, 駐輪場整備
平成28年度	第2期工事 第1駐車場, エントランス広場整備
	リニューアルオープン(秋)

駐車場運営事業者の選定に当たり、公募型プロポーザルを実施する予定です。

8 事業費 (見込み)



内容	事業費
基本設計費	700万円
実施設計費	2100万円
工事費	4億 300万円
その他	1500万円
合計	4億4600万円※

※ 別途路面整備等に係る工事費1億8800万円を、プロポーザルで選定する運営事業者に負担いただくことで、本市の経費圧縮を図ります。

「元離宮二条城東側空間整備基本計画」本文は、ホームページで御覧いただけます。

URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000180712.html>

発行：京都市文化市民局文化芸術都市推進室元離宮二条城事務所
京都市中京区二条通堀川西入二条城町
電話 075(841)0096 ファックス 075(802)6181
平成27年3月発行 京都市印刷物 第 263301号